

観察会報告

三保ビーチコーミングと三保松原文化創造センター「みほしるべ」の見学会

萬屋由香子



ビーチコーミングに集まった皆さん

1月11日に実施された三保の内海の海岸でのビーチコーミングと三保松原文化創造センター「みほしるべ」の見学会に参加しました。参加者は大人18名、子供3名、1月ということで天候や気温が心配でしたが、予想に反して、風のない暖かい陽気の中で海岸をじっくりと散策することができました。

波打ち際には、棒状の寒天のような透明な物体が数体見つかりました。持ち上げてみるとすぐにバラバラになってしまったので、なにかの卵かと思いましたが、ヨウラククラゲという群体性のクラゲであることを教えていただきました。触手は見られず体の部分（泳錘部と栄養部）のみが打ち上げられていたので、一般的なクラゲとして思い浮かぶ、おわん型の傘にたくさんの触手、という姿に全くあてはまらず、非常に印象に残りました。

ナミマガシフは橙色や桃色などの多様な色の貝殻が美しく、今回たくさん拾うことができました。一緒に参加した子供たちは流木やビーチグラス、陶器やプラスチックの破片、クルミ、平らな石など普段拾えば怒られそうな様々なものを気が済むまで拾い集めてとても満足気でした。

最後に参加者の方がそれぞれ拾ったものを持ち寄りしましたが、その中でシロカメガイを見せていただくことができました。シロカメガイは体長数ミリほどの透明で薄い殻をもつ浮遊性のウミウシの仲間です。とても繊細で小さくふっくらとした丸みのあるかわいらしい姿で、これは見たことがないと絶対探せないと思いまし



ヨウラククラゲ



ビーチコーミングで収集したものを見せ合う

た。今回初めて実物を見ることができたので、次回はぜひカメガイを狙って探してみたいです。

確認できた生物は、クラゲ類2種、イソギンチャクの仲間1種、巻貝はメダカラ、イボニシ、ムギガイ、ツメタガイなど18種、二枚貝はナミマガシフ、マガキ、ミドリイガイ、アサリなど15種、環形動物（ゴカイの仲間）2種、棘皮動物2種とのことです。

ビーチコーミング終了後には三保松原文化創造センター「みほしるべ」へ各自移動しました。「みほしるべ」は2019年3月に開館した、三保の歴史や文化、松の保全活動を紹介する展示施設です。一階は芸術・文化の展示とミュージアムショップ、二階は松の保全・郷土史の展示、松で作った楽器の体験コーナーなどがあります。見学後、館内で解散となり、自然観察と施設見学二本立て、海のお土産付きの充実した観察会となりました。